

荒子川公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	名古屋市みどりの協会・大島造園土木グループ		
主な業務内容	荒子川公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市港区品川町二丁目 1－1		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置 緊急時の体制 人材育成等	○	引き続き、職員が交代で施設安全パトロールを毎日実施している。 新型コロナの影響がある中、サポートクラブと幅広い面で協働活動を行っている。
	2 協働	市民等との協働		
維持・管理 運営等	1 維持管理	園内清掃	○	樹木や花壇もよく手入れされており、老朽化した四阿の屋根撤去や階段への手すり設置、遊具の更新・新設等利用者の安全や利便性を考慮し実施している。その他、多目的広場の整正やデイキャンプ場のかまどやベンチの修繕などきめ細かく維持管理している。
		建物・設備の管理		
		保守・点検・修繕		
		植物管理		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	◎	イベントや講習会開催時の他、平常時対面式の魅力アップアンケートによる意見の収集・分析及び近隣学区の方などとの施設運営懇談会の実施により、利用者ニーズを的確に把握し改善を行っており満足度も高い。 また、要望をもとに健康器具や遊具の設置、階段への手すり設置などを設置しサービス向上を図っている。
		利用者ニーズの把握と反映		
		利用者サービス向上策		
		接客・接遇向上の取組み		
		苦情・要望に対する適切な処理		
		個人情報の適切な管理		
	3 この施設特有の管理	緑の普及・啓発事業への取組み	◎	引き続き、ラベンダー見本園をリニューアルするとともに、栽培方法を工夫し見本園の充実に努めている。 また、見ごろが終わったラベンダー園を活用して、秋に満開のヒマワリを楽しめるよう魅力増進を図っている。 SNSを積極的に活用して、花の開花状況やイベント情報などを常時発信している。
		めざす公園像への取組み		
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策		
		イベント等の実施		
		講習会等の実施		
		利用者への広報・情報提供の実施		
	5 取納金の処理業務	現金等の取扱い	—	
		関係書類の調製・保管		
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	喫茶コーナーにおいて、ラベンダーを使ったオリジナルメニューの提供やラベンダーグッズ等を販売しており、利用者へのサービス向上となっている。 また、自動販売機の売上増により、収益を還元した。
		集客対策への効果		
		自主事業の収支及び還元		
		便益施設の管理運営		
収支	1 収支	経費節減策	○	施設内の照明をLED化するとともに、電力会社の見直しを行い経費節減に努めている。
		年間収支		
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じた対応が求められる中で、様々な感染症対策を行い、利用者の安全確保とサービスの維持に努めながら、講習会・展示会についてある程度の受講者を集めたこと、ラベンダーフェアの中止やガーデンプラザの利用制約を受けながらも、コロナ禍における健康づくり需要に対応する努力やこれまでとは違ったイベントによる新規需要開拓の努力がみられ、入園者数も一定程度以上確保していることは評価したい。

植物管理について、提案にあった正面入り口のケヤキ本来の樹勢回復のための植え替えなど、専門家の意見を聞きつつ様々な工夫を行いながらしっかりと実施されている。また、ボランティア団体のサポート体制も充実していること、2年連続で実現できなかった収益還元が実現できたことも評価したい。

コロナ感染防止のための中心的イベントの「ラベンダーフェア」が中止になってしまったが、代わりになるような企画を用意しておく必要を感じる。アフターコロナを見据えた3大イベントのさらなる充実と3大イベントだけに頼らない小規模な催しなどを通じ、今後とも魅力ある公園づくりを期待したい。

講習会と展示会については、アンケート調査結果でも95%以上が満足しており評価できるが、現状の評価を行ったうえで、新たな企画への入れ替えを積極的に行うとともに、SNS等を活用するなどさらなる緑の普及啓発と公園の利用促進を図られたい。

施設の現状

荒子川公園

施設の現状

施設概要							
荒子川公園は、本格的都市緑化植物園を備えた総合公園として昭和54年度より整備を進めてきた公園です。敷地内には、荒子川右岸に街路樹・公園樹見本園(樹木園)、学校緑化・生垣見本園(野外学習園)、ラベンダー園を設け、荒子川左岸には、テニスコート、サンクガーデン、多目的広場、日本庭園、わんぱく冒険広場、デイキャンプ場等が設けられています。「光と水のふれあいの森」を基本理念とし、ラベンダー園やサクラのトンネルなど、四季を感じる景観を楽しむことができます。 荒子川公園内にある荒子川公園ガーデンプラザは、市民の緑化意識の啓発を目的に平成5年4月30日に開設されました。館内は、緑に関する相談・展示・講習会・研修会などの普及啓発施設として利用されています。また、平成9年3月にはティールームを併設しています。							
市の収支状況(千円) (2年度決算(見込)額)							
支出			収入				利用料金
指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
115,094	-	115,094	203	-	114,891	115,094	—
特記事項							
指定管理区域を、平成22年度から荒子川公園全域に拡大							

管理運営指標の状況

取組状況					
指標	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
講習会受講者数	人	1,252	1,011	1,040	652
緑化相談者数	人	110	78	146	189
入館者数	人	277,470	282,573	231,512	116,929
特記事項					

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載